

平成29年度認知症地域支援推進員研修
Ⅱ 認知症の人とその家族の支援体制の構築及び
認知症ケアの向上を図るための取組みの推進
『支援体制構築（事例①）』



**「私らしい生活」をともに考え、
支え合う仲間を増やす
～活きた連携作りの一步一步～**
～認知症地域支援推進員養成研修 岡山会場～



鹿児島県 霧島市

社会福祉法人 霧島市社会福祉協議会

霧島市地域包括支援センター

霧島市認知症地域支援推進員 福田 竜光

私が暮らす霧島市をご紹介します



鹿児島県第二のまち

ソニー・京セラの工場 農業も盛ん

霧島錦江湾国立公園

観光・ビジネスのアクセスはしやすい

一方、暮らしては自家用車が必須

温泉が有名

(坂本龍馬とお龍、日本初の新婚旅行の地)

黒酢・壺畑が有名



日常生活圏域図



日常生活圏域は10ヶ所

面積:603.18km² 人口密度:210人/km²

総人口:126,703人

高齢者数:32,594人

高齢化率:25.32%

旧市町単位では、高齢化率の差があり

旧国分市**20%**～旧牧園町**43%**

認知症高齢者の自立度Ⅱ以上 4,247名

(内、若年認知症の方51名)

温暖な気候で、台風等には慣れているが、雪

が積もると交通網がマヒ

地域包括支援センター:

委託型:社会福祉協議会

(本所・各日常生活圏域に2名配置)

事業:認知症地域支援・ケア向上事業

(推進員:1名専任、3名兼務)

認知症初期集中支援事業

(1チーム専任)

霧島市の認知症施策の概要

認知症地域支援・ケア向上事業

霧島市地域包括支援センターに
認知症地域支援推進員の配置

認知症早期発見促進事業
「もの忘れ外来受診券」の発行

認知症サポーターキャラバン事務局

霧島市版認知症ケアパス
「私のアルバム～やがてのために～」事務局

霧島市家族介護者交流会
「このゆびとまれ」事務局

霧島市認知症高齢者支援
ネットワーク連絡会事務局

認知症カフェ事業
(認知症疾患医療センターが運営)

認知症高齢者見守りネットワーク事業
(霧島市地域密着型サービス事業者連合会実施)

認知症初期集中支援事業

霧島市地域包括支援センターに
認知症初期集中支援チームの配置

対象ケースの初期集中支援・
チーム員会議

初期集中支援チーム検討会議

在宅医療・介護連携推進事業

始良地区医師会に委託

- ①在宅医療・介護連携の対応策の検討
- ②切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- ③医療・介護関係者の情報共有の支援
- ④在宅医療介護連携に関する相談支援
- ⑤医療・介護関係者の研修

今回報告させていただくのは

**霧島市の認知症施策の推進の
原動力【連携】について**

霧島市認知症地域支援推進員に求められること

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるよう、地域包括支援センター、認知症疾患医療センターを含む医療機関や、介護サービス事業者や認知症サポーター等地域において認知症の人を支援する関係者の**連携**を図る。

地域の実情に応じて、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築する。

認知症地域支援推進員の活動

～多くの方・機関の理解と協力のもとで～

霧島市

地区医師会・歯科医師会・薬剤師会
地域密着型サービス事業者連絡会
民生児童委員協議会
作業療法士会
認知症疾患医療センター
認知症サポート医
介護支援専門員会(あしたば)
通所介護サービス連絡会(やったる会)
障害者就労移行・継続支援事業所
警察・消防
小中学校
商工会
介護サービス事業者
Etc.

自治公民館長
自治会長
民生委員
在宅福祉アドバイザー
認知症の人と家族の会
長寿会
認知症サポーター
ケースを通して理解を頂いた方
Etc.

認知症介護指導者
霧島市地域包括ケアライフサポートワーカー
作業療法士
他市町村の認知症地域支援推進員
Etc.

今、繋がっている人・機関から広がる
行政担当者との連携は基礎

市町村との連携は必須

行政担当者と何度も話し合い、青写真を描く。
しかし、行政担当者と推進員だけでは、何も始まらない。
行政担当者に、認知症施策をどう進めたいかをグイグイ話す。
「市役所職員に、認知症サポーター養成講座を
開きたいんですよ。」

「いいよ。いいよ。」

「市報に案内を載せたいんですが・・・」

「いいよ。いいよ。」

認知症介護指導者との出会い

H18年 小規模多機能型居宅介護が創設

勉強会・情報交換を目的として、「小規模多機能ホーム連絡会」が発足。

H20年～地域包括支援センターも会に参加し、情報交換を行う。

認知症介護指導者との「出会い」

H23年～グループホーム・認知症対応型デイサービスを含め、

「霧島市地域密着型サービス事業者連合会」が発足。

H24年～霧島市地域包括ケアライフサポートワーカー養成が開始。

～H28年までで5期生養成： **111**名が活動中。

H25年～「霧島市介護まちかど相談所」として、

地域包括支援センターのフランチとして機能。



霧島市地域包括ケア。

ライフサポートワーカーとの協働

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカーとは・・・

総合相談機能や地域の関係づくり、集まりの場づくり、虐待への緊急対応など生活を継続するうえでの「安心」を支援するための拠点となり、その地域に密着したセーフティネットの構築をする役割を有する。

ライフサポートワーカーの協力のもと、「認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり」に取り組んでいます。

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー

あんた達は、お年寄りを勝手に連れて行く。

どんな思いが込められた言葉

なぜ勝手に連れていってしまったのだろう

地域の方と協力することの必要性は

私たちは、今



あんた達は、お年寄りを勝手に連れて行く。	3グループ(区分①)	4グループ(区分②)	5グループ(調査・教訓)
・地域の人と繋がらない ・自分達だけでは支えられない ・地域で生活しているため ・その人ごとを担っている ・いざというとき何かと便利	・自分達だけでは支えられない ・地域で生活しているため ・その人ごとを担っている ・いざというとき何かと便利	・地域にいても、自分達で支えられない ・地域で生活しているため ・その人ごとを担っている ・いざというとき何かと便利	・地域にいても、自分達で支えられない ・地域で生活しているため ・その人ごとを担っている ・いざというとき何かと便利



・その人(地域)との関係がわからなかった ・本人、家族の希望から ・一人暮らしが心配だから ・そんなつもりはなかった ・どこまで伝えて行ったか	・近所の方に伝えなければという意識が ・地域の方に伝えていなかった ・地域の方に伝えていなかった ・地域の方に伝えていなかった	・特別理由が無い限り言わない(個人情報) ・事業所に本人、家族が了解した上で支障ない ・家族の要請の上での対応である ・一人で家に残してはいけない(様々な問題がある) ・勝手にではない(本人、家族の希望の上) ・ケアマネ(事業所)に絡まれて ・どこまで言えるのか
私達は今、つなごうとしているのでしょうか？	高齢の男性がGHから「帰りたい」と訴える... 帰してあげたい思いが強くなりました	今、地域と繋がっているのでしょうか？ ①地域での繋がりが足りない ②交流の場(利用者、地域の方) ③細かく、小学校～老人クラブ等まで ④全職員が同じ意識をもっているのか？

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー 活動内容

A. 地域の広場グループ

総合事業に向けた取り組み
霧島オリジナル、おもしろ資源マップづくり

D. ボランティアネットワークグループ

ボランティアの活性化ネットワークの構築

B. 研修・レクリエーショングループ

さらなるスキルアップを目指して
各種研修の企画・運営

E. 認知症サポーターグループ

認知症サポーター養成・フォローアップ
見守りネットワークの構築

C. ライフサポートワークグループ

「私のアルバム」「～したい」を叶えるチーム作り

F. あったら良いなを創造するグループ

ICTを使用した医療・介護・住民ネットワークづくり

介護
まちかど
相談所
霧島市

まちかど
介護相談所



霧島市

私のアルバム～やがてのために～の普及 (霧島市版認知症ケアパス)

認知症介護指導者の呼びかけで

- ・認知症の人と家族の会
- ・鹿児島県・霧島市
- ・認知症疾患医療センター
- ・小規模多機能ホーム
- ・グループホーム
- ・認知症対応型デイサービス
- ・居宅介護支援事業所
- ・地域包括支援センター



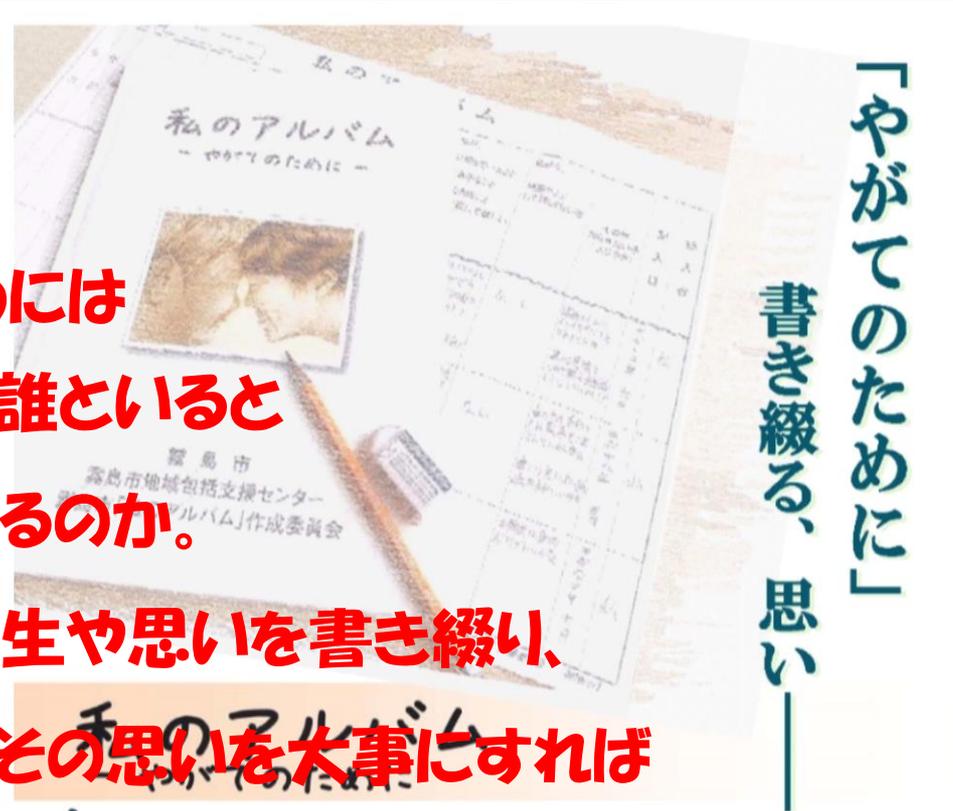
が思いを持ち寄り、霧島市「私のアルバム」作成委員会が発足し、業務終了後に月1回のペースで検討を重ねる

平成22年10月22日～開始している取組

**私らしく暮らし続けるためには
どこで、どのように暮らし、誰といると
居心地がよい暮らしが送れるのか。**

**“やがてのために” 自分の人生や思いを書き綴り、
“やがての時に” 周りの人がその思いを大事にすれば
最期まで主人公であり続けることができるでしょう。**

**本人の思いを中心にした人生を守るには、
本人の声が大切ですよね**



自分史を作ってみませんか？

もし、介護が必要になった時・・・

あなたを支える家族や医療・介護に携わる方々が、あなたの自分史を参考にすることで、きっとあなたらしい人生が続く事でしょう。



私らしい生活とは何でしょう？

生まれた場所の懐かしい風景…

心落ち着く風景…

ご両親、ご兄弟との思い出…

出会った方々との思い出…

そこから学んだ、たくさんの経験…

私にとってはあたりまえの経験や

光景はひとりひとり違うもの

私たちがしている「ケア」の根拠
不確かさが浮き彫りに

霧島市地域包括ケア・
ライフサポートワーカー5期生研修

突然ですが、
私らしさってなんでしょ。



突然ですが、 私らしさってなんですか。

霧島市地域包括ケア・
ライフサポートワーカー5期生研修

特に意識しない当たり前の日常や
考えの傾向が私らしさ

あらためて「私らしさ」を問われると、
一言では説明がつけられないことに気づく。
ご利用者の「私らしさ」を支える・・・私たちは、この意識されていない当たり
前の日常を捉える必要がある。

多くは、大切なのは「物」ではなく、エピソード

○○からのプレゼント

○○するために必要なもの

輝いていた私を象徴するもの

「私らしさ」は限定されない。制限されない。

悲しさ・苦悩など、表出するには辛い出来事を受け止めた強さを知る。

悲しさ・苦悩など、表出できていない感情を受け止める力が支援者には求められる。

書くことが目的ではない。「私らしさ」を意識し捉え、「私らしい生活」を続けることが
目的。

私のアルバム

私の名前

年 月	年 齢	暮らしの 場所	一緒に 暮らして いる人	暮らしの 出来事	私が好きなこと ①大好きな人 ②頼りになる人 ③好きな場 ④好きな食べもの ⑤テレビ、タレント ⑥新聞雑誌	今の私が、 ①呼ばれ方 ②自慢できること ③以前からやり 続けていること ④頑張っていること ⑤よく出かける 場所	私が今、 ①安心できること ②大切にしてい るもの ③身近に置いて いるもの ④持っているもの	私が、 ①困っていること ②苦手なこと ③心配なこと ④支援して欲しい こと	私が今、 周囲の人に して欲しくない事	その他 知らせたい事 (つぶやき)	記 入 日	記 入 者
--------	--------	------------	--------------------	-------------	-------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------	---------------------------	-------------------------	-------------	-------------

参考としてお渡ししている基本様式ですが、様式はこの限りではありません。

大切に思うこと、書きたいことが自由に・・・私らしく書ける様式があれば、活用していただけます。

平成29年5月31日現在の参加状況

開催回数	106回
参加延べ	1659名
包括保管分	156名

成果

自分や関わる人を大切に思う

自分の存在を確認する

涙

笑顔

自分
望む暮らし

これからも
ここで暮らしたい

人生を振り返る

写真を探す

タイムスリップ

地域の方の
絆が強まる

大切に思う

連携を図る

地域、事業所、ケアマネ、
医療機関、包括との
繋がりを

存在を意識する

家族や
関わる人

涙する

笑顔になる

人生の理解が深まる
いつまでも元気で
いて欲しいと願う

写真と一緒に探す

タイムスリップ

会話を
する



課題

医療・特に認知症疾患医療に関わる専門医からは、評価が高い。しかしながら、周知が足りていないことが窺える。

私のアルバムだけでは、私らしい生活の継続は難しい。専門職が、本人の思いを受け取り伴走する視点を持てるよう、資質向上の機会を持ち続ける事が重要。

今後の活動・取組の方向性

アルバム作成をされている方の介護保険被保険者証に「アルバム作成の有無」を記載することで、支援者が作成されたアルバムを参考に本人の望む暮らしや思いを大切にしていける体制を構築中です。

介護支援専門員がモニタリング等で、アルバム作成に取り組み、望む暮らしや思いを大切にしていける支援体制を整えていきます。

霧島市独自の連携パスという形で、霧島市全体で取り組みをおこなっているところです。

一人の力ではできないこと、関わるものが連携し協働していけるよう、私たちの働きかけはこれからも続きます。

最後に

これから、推進員として活動される皆様へ

認知症地域支援推進員の活動は、0からスタートするものではありません。

皆様が、今まで培ってきた知識・人脈が、推進員となったあなたの後押しをしてくれるということをお忘れずに

認知症地域支援推進員として、一緒に頑張っていきましょう。

ご清聴ありがとうございました